

平成25年 第1回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成25年1月4日（金）  
開会 午後1時 閉会 午後1時35分
- 2 場 所 大宮庁舎4階 第5会議室
- 3 出席委員名 小松慶三、文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂、  
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、  
社会教育課長 土出政信、子ども未来課長 中村八寿子、  
文化財保護課 吉田 誠、総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 坪倉武広
- 7 議 事
  - (1) 議案第1号 専決処分について（京丹後市立保育所職員（管理職）の人事異動）
  - (2) 議案第2号 京丹後市地域公民館長の辞職の同意について
  - (3) 議案第3号 京丹後市地域公民館長の公募について
  - (4) 議案第4号 ワクワクドキドキおもしろ科学体験（京都大学連携事業）の開催に係る共催について
- 8 そ の 他
  - (1) 諸報告
    - ① 「共催」・「後援」に係る12月期承認について
  - (2) 各課報告  
〈学校教育課〉
    - ① 1月行事予定について
  - (3) その他
- 9 会 議 録 別添のとおり（全7頁）

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成25年2月7日

委員長 小松 慶三

署名委員 文珠 清道

〔招集者〕 京丹後市教育委員会委員長 小松慶三

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘

〔説明者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂、  
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、  
子ども未来課長 中村八寿子、社会教育課長 土出政信、  
文化財保護課長 吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄

〔書記〕 教育総務課長補佐 坪倉武広

〈小松委員長〉

みなさん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。また、教育長の方に置かれましては、お母様のご不幸ということで心よりお悔やみを申し上げたいと思います。

先ほどまで、午前中は京丹後市の賀詞交歓会ということで関係の皆様には御出席いただきましてご苦労様でございました。12月は、12月定例会ということで議会の方もございました。いろんな教育委員会に対する質問、いっぱいございました。そうした中で、教育長並びに教育次長の方で的確に教育委員会の状況、あるいは教育の状況についてしっかりとご答弁をいただいております。本当に心強く思ったところでございます。今年も、こういった体系の中で今後ともよろしくお願ひを致したいと思うところでございます。

それでは、教育長報告に移りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

〈米田教育長〉

それでは、失礼します。新しい年を迎えました。皆さんご家族で健やかにお迎えになったことと思います。統合保育所に関わる問題とか、学校再配置、教育改革構想の推進、それから今年迎えます丹後建国1300年事業の推進と、多くの課題を抱えてのスタートでしたけれども、そのほとんどを皆様のご協力により計画通りに進めることができました。皆さんの熱心な審議、それからそれを実行するための事務局職員の奮闘、またそれを受け止めて真摯に取り組んでいただいた保育所や学校関係者、社会教育関係者に心からお礼を申し上げたいと思います。まだ来年度4月から控えている大きな取り組みを成功させるためにも教育委員会が一つになって取り組みたいと思います。そして、数々の大きな課題や事業を必ず成功させていくと、こんな決意で望みたいと考えております。中でも、全国的に教育委員会のあり方を見直さなければならぬという意見が多いと強く感じております。教育委員会が批判的に見られていることは残念ではありますが、私ども教育委員会は原則的に課題を見逃さず、内容によっては市民の意見も聞きながらやってきました。不十分であった点は更に補強もしながら関係団体や組織と連携を密にしながら努力をし、市民の信託に答えていける教育委員会でありたいと思います。合併以来、京丹後市教育委員会は約40校にもわたる学校の管理、また学校再配置を軸と

した大きな教育課題に教育委員さん方が一つになって取り組んでこられ、大きな足跡を残していただきました。しかし、今年はそれを具体化する更に大きな仕事が控えていると思います。委員さん方、各課長も含めて更に心をつにして今抱えている大事業を、またこれから取り組む大きな課題に一致団結して取り組みたいと思っております。どうかよろしくお願ひします。

12月の動静について、プリントを入れておりますので簡単に説明させていただきます。

#### 【動静表を朗読、説明】

〈小松委員長〉

ありがとうございます。ただいまの教育長報告につきまして、ご質問等ございましたらお願ひします。

〈小松委員長〉

ございませんか。

それでは、次に会議録の承認を行います。第16回の署名委員は森委員、第17回の署名委員は野木委員でございます。会議録につきましては、お手元の方に送付させていただいております。原案のとおり承認させていただいてよろしいでしょうか。

〈全委員〉

了承。

〈小松委員長〉

それでは、原案どおり承認とさせていただきます。

〈小松委員長〉

本日の会議録署名委員の指名をさせていただきます。  
文珠委員を指名いたしますのでよろしくお願ひします。

〈小松委員長〉

それでは、お手元の会議次第に沿いまして議事を進めさせていただきます。

初めに、会議の非公開についてお諮りを致します。

議案第1号、議案第2号の2議案につきましては京丹後市教育委員会会議規則第16条第1項第1号の規定によりまして、非公開とさせていただきます。よろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしということでございましたので、全員の賛同を得たところで、議案第1号、議案第2号の2議案については非公開とさせていただきます。

(非公開部分省略)

<小松委員長>

これより会議を公開と致します。

<小松委員長>

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第3号「京丹後市地域公民館長の公募について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願い致します。

<米田教育長>

これについても、教育次長の方から提案します。

<吉岡教育次長>

議案第3号「京丹後市地域公民館長の公募について」説明をさせていただきます。前議案で提案しました通り、丹後地域公民館長の辞職に伴い後任の館長を任用する必要が生じたので、公募により選任をしようというものでございます。従来は公募を行っておりませんでした。今後広く人材を求めることとするため、今回公募をすることとさせていただいたものでございます。公募要件、選考手順、スケジュール等については資料を付けさせていただいておりますので詳細等についてはご確認をいただきたいというふうに思います。なお、任期につきましては京丹後市公民館条例第5条第3項の規定で、補欠職員の任期は前任者の残任期間ということになっておりますので、通常は2年任期ですが、平成25年4月1日からの1年間とさせていただきますというふうに考えております。

以上ご審議のほどよろしくお願い致します。

<小松委員長>

議案第3号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。

<小松委員長>

今後はどう、各地域公民館長については公募スタイルをとるということですか。

<吉岡教育次長>

今後は公募をさせていただきたいと考えております。今までは選任の形をとらせていただいていたのですが、近年いろいろとご意見箱とか市民の方からのご意見もいろいろといただいている面もあります。それから、過日の前年度の決算審査特別委員会の中で議員の方からもできるかぎり公職においても公募をして欲しいという意見も多くいただいております。公民館長につきましても公募の形を取らせていただいて今後進めさせていただきたいと思っております。

<小松委員長>

公募で、応募をされる方がおられない場合はどういうふうに考えておられますか。

〈吉岡教育次長〉

仮に公募がなかった場合につきましては、何回も公募するわけにはいかないと思いますので選任の形を、その時点ではとらせていただこうと考えております。

〈野木委員〉

資格条件の中で年齢制限的な事があるのですか。

〈吉岡教育次長〉

特に公職の関係で年齢制限等は特に決めたものはないです。当初、年齢制限を設けることとしていましたが、任用期間を設定するものについては、制限を設けることは適切でないとのことであり、設定しないこととします。

〈小松委員長〉

今回の公募を見て、それからこの形でいいのかどうかということをご検討いただければと思います。

〈文珠委員〉

応募条件の下の方に、職務上パソコン（ワード、エクセルを含む）の基本操作ができることが必要と、できたことにこしたことはないのでもいいかなと思うのですが、地域公民館は地区公民館と違って主事さんがちゃんとしておられるのではないかなという思いなのですが、バリバリできなくても、ある程度できれば許容範囲ではないのかと思うのですが。

〈吉岡教育次長〉

地区公民館と違って、今ありましたとおり地域公民館は、正職員が一人いますし、それから社会教育指導員も二人又は一人おります。実際の事務的なことはその方が遂行されるのですが、現実問題として、地域公民館長さんにもたくさん事務をしていただいています。ですから、やっぱり今の時代ですからパソコンがある程度使えなければなかなか業務がしにくい場面もあると思いますので、できましたら一定の操作のできる方をお願いしたいというふうに思います。

〈小松委員長〉

他にございませんか。

それではお諮りを致します。議案第3号「京丹後市地域公民館長の公募について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

それでは異議なしと認め、承認とさせていただきます。

〈小松委員長〉

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第4号「ワクワクドキドキおもしろ科学体験（京都大学連携事業）の開催に係る共催について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

<米田教育長>

これにつきましても、教育次長の方から提案します。

<吉岡教育次長>

議案第4号「ワクワクドキドキおもしろ科学体験（京都大学連携事業）の開催に係る共催について」説明をさせていただきます。この事業は理科実験や観察などの体験活動を通して、科学体験に対する喜びや感動を共有する場を提供することにより、子供達の知的好奇心や探究心をはぐくむことを目的として実施されるものでございます。内容は大学の教授によります科学教室と科学体験ブースを予定されておりまして、対象は、科学教室は管内の小学校4年生から6年生、体験ブースは小学校4年生から中学生というふうになっています。丹後管内で複数実施を予定しておられますが、京丹後会場は平成25年2月10日にアグリセンター大宮を会場として開催されます。主催は京都大学と京都府教育委員会、申請者は京都府教育委員長田原博明氏となっております。京丹後市教育委員会としては、チラシ配布等の協力を行うこととしております。

以上ご審議のほど、よろしくお願い致します。

<小松委員長>

議案第4号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<野木委員>

すみません、この催し物は恒例行事なのですか。初めての取り組みですか。

<土出社会教育課長>

はい、以前は理科わくわく体験教室というものを学校、大学と連携して事業実施していましたが、今年度につきましては事業予算が足りませんので、一応予定はしてなかったのですが、今回は大学の方から京都府の丹後教育局を通じまして、こういう事業を計画しているのだが受け入れてもらえないだろうかという打診がありまして、それを受けまして今回、京丹後市でも受け入れていこうということで、今回につきましては全く大学が主導の形で提案があったということです。例年実施しているということではありません。

<野木委員>

わかりました。その次に続く質問として、参加定員というのが30名と書いてあったので、せっかくこういった機会を京丹後市でも4年生から6年生30名しか受けられないというのは随分少ないなと思ったのですが、向こう主導の催し物ということで理解をしたらよろしいですね。

〈小松委員長〉

これはどういうふうにするのですか、30名を、京丹後でやるのは2月10日の日曜日で、次の日も伊根の会場を使ってやられるという、峰山の、こちらの方の京丹後市の集客、集客というとおかしいですけど、このあたり、任意にこれに参加するという形なのですか。どういう形で周知はされていくのですか。

〈土出社会教育課長〉

要綱を確認しましたら、教育委員会で各学校宛に開催される旨の案内をさせていただきたいと思っています。参加につきましては定員30名というふうになっているのですが、体験ブースの方については参加自由ですので、今回内容によってどれだけのブースを設置するかというのはまだ未定なのですが、そのブースの中に行って実際子どもたちが体験するということは何人でも可能ですので、教育委員会から学校へ参加の周知をしていきたいと考えています。

〈文珠委員〉

定員が30名の教室ですけども、科学教室アの三葉虫教室とイのえれめんトランプ教室があるというふうにはここでは受けていただくわけですけども、30名、三葉虫教室で30名、京丹後市の子はたくさんくるのかなという心配があるわけですけども、そういった見通しは、何人くらい来られるかどのくらいを見込んでおられるか教えて下さい。

〈土出社会教育課長〉

昨年度は丹後地域公民館と網野のレポートで理科わくわく体験教室を実施させていただきました。そのときの状況と全く一緒ということは考えられないのですが、人数的には30名というのは時期的にちょっと終業式前ということもありまして、あまり多くないかなというふうには。それから、30名を超えてということはなかなか難しいかなというふうに思います。ただ、30名を超えた場合でもある程度の対応人数の数によっては大学との手順の中で多少は受け入れてもらえることもあると思いますので、30名の定員を目途に参加を募集していきたいというふうに思っております。

〈小松委員長〉

ということは、自由参加的な部分であってそのカウントを学校で掌握するという事ではないということですね。

〈吉岡教育次長〉

そうです。事前申込です。

〈土出社会教育課長〉

事前申込をさせていただいています。材料の関係がありますので事前申込が必要となります。

〈森委員〉

多くなったときの心配をすると、申込順になるとか、先着順であれば30名、多ければ抽選になるとかということも考えておられるのですよね、きっと。



〈土出社会教育課長〉

先着順はちょっと学校での対応もありますので、しにくいかなと思っています。抽選にさせていただきます。ただ、抽選にもれましても先ほど言いましたように体験ブースもありますので、できるだけ参加をしてもらいやすい形での対応はしたいと思っています。

〈小松委員長〉

他にご意見ございませんでしょうか。

それではお諮りを致します。議案第4号「ワクワクドキドキおもしろ科学体験（京都大学連携事業）の開催に係る共催について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

それでは、異議なしと認め、承認と致します。

〈小松委員長〉

以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願い致します。

(1) 諸報告

〈教育次長〉

① 「共催」・「後援」申請に係る12月期承認について

(2) 各課報告

〈学校教育課〉

① 1月学校行事予定について

〈小松委員長〉

それでは、全体を通しまして、何かご質問等ございませんでしょうか。

〈小松委員長〉

それでは、以上をもちまして第1回京丹後市教育委員会定例会を閉会と致します。ご苦労様でございました。

〈閉会 午後1時35分〉

[ 2月定例会 2月 7日（木） 午後3時から ]